

業化とは質的に違う。この点を勘違いしている人が多い。産業化というのは経済力が増進する。それを引っ張って行くのは企業、ビジネスだ。その前の武力が増進する時代を引っ張っていったのは国家だ。

そして今、これまでの国家や企業とは違うタイプの組織が生まれてきた。これまでの国家や政府ではない。ノー・ガバメンタル・オーガニゼーション（非政府組織、NGO）、企業でもないノー・プロフィット・オーガニゼーション（非営利組織、NPO）というものだ。インターネット上で活躍しているものだけでも、200万はくだらないだろうといわれている。

国家の数は200ぐらいだ。インターネットを使ってグローバルに活躍している企業は2万ぐらいだ。グローバルに活躍しているNGO、NPOは200万ある。このネット上で活躍するNGOやNPOが中心となって進行する情報化の発展を、私は「智業」と呼んではどうだろうと提案している。「智」=説得力・誘導力を発揮し、獲得しようというのがこのグループの目標、ねらいだ。取引や脅迫ではなく、説得する力が目指す力だ。そのメンバーを英語ではネティズンと呼ぶが、日本語では「智民」と呼んでみたらどうかと考えている。

日本でもNPOに関する法律ができた。今後もっともっとそういう法律が整備されていこう。それとともに、NPOやNGOを形づくっているメンバー、ネティズン、智民が自分たちのパワーを自覚ようになる。積極的に政治的な目標を掲げて、実現しようという方向へ動き出す。そのために彼らはグローバルに連携を組んで、インターネット上で瞬時に何百万通というメールを取り交わして、行動を始める。これは大変なパワーになる。そして情報化を先導する役割を担うのではないか。

### IT革命の3つの流れをとらえて よりよき21世紀社会を実現していく

日本は第二次産業革命で非常に成功をしてきたし、これからも成功を続けていこう。問題は第三次産業革命だ。日本はこの第三次産業革命を理解するのが遅れてしまった。もっぱらこれまでの成功ばかりを考えていたからだ。今、一番大事なのは、今回のe-Japan戦略ではないが、広帯域のインフラをきちんとつくり、その上で既存のビジネスや政府や市民たちが、どんどんと情報通信の仕事をする事だ。

またこれからは「通信」が非常に重要になる。例えば、全ての自動車に通信装置がついていて、情報を取るだけでなく発信をする。道路の状況、エンジンの回転状況、振動状況等々、日本列島を走っている1千万台の車から情報を発信し、コンピュータが解析をして、必要な人に、必要な形で届けるといったように。

あるいは日本中や世界中を移動している全ての貨物に、切手ぐらいの大きさのITアドレスが付いていて、何がいくらで売られていて、今度はどこに届くということが全てわかる。そのために通信をしあっているとといったように。

あるいは子供から老人までみんな体に通信装置を身に付け、全ての空間、全ての場所にITアドレスを持って、お互いに通信をしている。そして、その情

#### 9 ITアドレス

インターネットなどに接続されているコンピュータの識別番号のこと。同じ番号が重複しないように、InterNICという組織が、IPアドレスを一元管理し、各国・地域のNIC（日本の場合はJPNIC）に割り当てている。IPアドレスは32bit（4B）の電子情報によって構成され、8bitずつ、4組の数字（0から255まで）に区切って表される（例：123.2.46.155）。